

# CASBEE®-ウェルネスオフィス | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-ウェルネスオフィス2021年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-WO\_2021(v1.0)

1-1 建物概要		1-2 評価パターン	
建物名称	東京汐留ビルディング	階数	地上37F 地下4F
建設地	東京都港区	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	850 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	設計段階(実施設計・施工)評価
竣工年	2005年1月 竣工	評価の実施日	2021年12月20日
敷地面積	17,847 m <sup>2</sup>	作成者	柴田 久子
建築面積	11,720 m <sup>2</sup>	確認日	2021年12月20日
延床面積	190,257 m <sup>2</sup>	確認者	小川 泰男

評価対象 パターン2

## 1-3 外観



2-1 総合評価	2-2 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>Rank: S</b>      83.6 /100</p> <p>S ランク: ★★★★★ &gt; 75                      A ランク: ★★★★☆ ≧ 65                      B+ランク: ★★★☆☆ ≧ 50                      B-ランク: ★★☆☆☆ ≧ 40                      C ランク: ★☆☆☆☆ &lt; 40</p>	<p>Qw2 利便性向上 (Score: 5.0)                      Qw1 健康性・快適性 (Score: 4.0)                      Qw3 安全・安心性 (Score: 4.1)                      Qw4 運営管理 (Score: 4.5)                      Qw5 プログラム (Score: 5.0)</p>

2-3 中項目の評価(バーチャート)		
基本性能		
<p><b>Qw1 健康性・快適性</b>      Score= 4.0</p> <p>空間・内装 (4.6), 音環境 (5.0), 光・視環境 (4.5), 熱・空気環境 (3.2), リフレッシュ (4.2), 運動 (3.5)</p>	<p><b>Qw2 利便性向上</b>      Score= 5.0</p> <p>移動空間 (5.0), 情報通信 (5.0)</p>	<p><b>Qw3 安全・安心性</b>      Score= 4.1</p> <p>災害対応 (4.5), 有害物質対策 (4.0), 水質安全性 (3.0), セキュリティ (5.0)</p>
<p><b>運用管理</b></p> <p><b>Qw4 運営管理</b>      Score 4.5</p> <p>維持管理計画 (4.2), 満足度調査 (5.0), 災害時対応 (4.3)</p>	<p><b>プログラム</b></p> <p><b>Qw5 プログラム</b>      Score= 5.0</p> <p>メンタルヘルス対策 (5.0), 情報共有 (5.0), 健康維持・増進プログラム (5.0)</p>	<p>参考: 知的生産性の視点に基づいた評価</p> <p>作業効率 (4.1), 知識創造 (4.7), 意欲向上 (4.9), 人材確保 (4.8)</p>

3 設計上の配慮事項		
総合		
<p>・新本社のコンセプトは『支え合うオフィス』である。コンセプトを実現するために「垣根のない一体感のあるオフィス」「わくわく、いきいき、楽しく働ける」「安心、安全、ストレスフリー」をキーワードにオフィスワークに対して新しい働き方に合わせた取組みを取り入れている。</p>		
<p><b>Qw1 健康性・快適性</b></p> <p>・執務室では、事務室の分割・拡張対応ができるような室配置、構造、設備仕様とし、日射抑制など快適性に配慮した。</p>	<p><b>Qw2 利便性向上</b></p> <p>・十分な会議室スペースの確保や打合せの規模、内容に応じた空間の選択が行える。</p>	<p><b>Qw3 安全・安心性</b></p> <p>・有害物質の少ない室内環境や建物全体的に揺れを抑える装置の採用等。</p>
<p><b>Qw4 運営管理</b></p> <p>・従業員への満足度調査や消防訓練への積極的な参加を促す取組の実施。</p>	<p><b>Qw5 プログラム</b></p> <p>・従業員に対しての健康診断実施や運動を促進するクラブ活動や活動に対しての補助などを行っている。</p>	<p><b>その他</b></p> <p>・共用部は運用、テナント部は設計段階で評価。</p>